

フロレタリア

発行所・新世界通信 発行人・小川春夫
東京都足立区梅島2-38-11-303
TEL 03(3849)4953 FAX 03(3849)4938
郵便振替 00160-4-174947
E-mail ga3129@bekkoame.ne.jp
URL http://www.bekkoame.ne.jp/i/ga3129

沖縄知事選大勝利！何が問われているか

「沖縄と日本政府の政治決戦」9・30沖縄県知事選挙で、玉城デニーと沖縄民衆が大勝利を収めた。厳しい選挙情勢をくつがえした歴史的な大勝利である。これによって、次のような情勢の転換が勝ちとられつつある。

一つは、辺野古新基地阻止の勝利の展望が切り拓かれた。安倍政権による埋立て工事再開など、もつての安倍政権では話しならない。日米合意見直しを米政府に提起できる日本の政権交代、これが視野に入つた。

また一つは、改憲をはじめ安倍政治の行き詰まりである。安倍は、総裁第3期目の改造内閣を10月2日発足させた。しかし、総裁選での右破との抗争で「安倍一強」は揺らぎ、何よりも沖縄県知事選大敗北によつて、満身創痍の自公政権継続となつた。民心は離れつた。9条改憲案を臨時国会に提出するならば、自爆行為となるだろう。

また一つは、大局的にもつとも重要なことであるが、朝鮮半島に統いて、まさに沖縄が、東アジア大変動の推進要素として登場したことである。「オール沖縄」の今後の闘いに、東アジアの未来がかかっている。日本側は、本「本土」の闘いが、これに遅れをとつてはならない。（編集部）

勝った「オール沖縄」に問われるのは 「繼承」「遺志」の明確化

デニーが勝った。沖縄人にとって、これほど嬉しいことは滅多はない。

「辺野古」は、積年の心痛のタネである。この知事選の帰趨も心痛のタネであった。投票日9・30に至る数日は劇的に過ぎた。期日前投票が過去最高の35%に達した。前日29日、秒速60mに近い台風が、沖縄島の山野をかきむしり、ぼうだな木々の枝をへし折り、まきちらしながら終日荒れた。投票日はどうなる？ 残る65%はどうなる？ 9・30投票日の早晚の

空には、月がこうこうと照っていた。投票締め切直後、まだ9時にもならない時間帯に、玉城デニー当確が報じられた。

「辺野古」をめぐり、もう20年も日本政府に対峙している。その沖縄人を代弁し、信頼を集め始めた翁長知事を失つて、気落ちしている中での、超短期決戦となつた知事選だった。

名護市長は2月市長選で、すでに奪われていた。次に日本政府は、佐喜眞淳を宜野湾市長から喜真淳を転じさせ、強大な力で沖縄県知事の首

投票日はどうなる？

フクシマと共に9・17をつないだ原発全国集会

東海第二原発を動かすな

▲ 代々木公園に8千人。壇上には東海第二原発訴訟原告団の大石光伸さん。

保健施設ドーヴィル双葉の患者らは、長時間の搬送や避難を余儀なくされ、うち44人が移動中のバス車内や避難先で死亡したとされる。

元東電社員が、出廷した。

期震さ年い秉さを し。

「アント停止を認められる可能性があつた」と証言した。

て採用され、検察官役
指定弁護士が読み上げ
いる。それは、判決へ
け重大な意味を持つ。

第25回公判は、被告
が申請した地震学者の辯
澤暢東北大教授が証人
教授は、推本が出たのは
震予測「長期評価」の改
定版（09年）や同第二回

長時
昇難
原ヶ
たよ
は、
り、
主 基本
るかという社会通念を
準とせざるを得ないこ
た。そして、国が破
壊の具体的対策を
ておらず、国民の多
く問題にしていないこ
と踏まえて、「伊方原
安全性は欠けていな
いうのが社会通念だ

月26日現在、これを巻き返し、発廢止へ流れを変換点となるのが、東海第二原発再稼と東電刑事裁判(一)ば来春に判決)、ついに勝利すること、「な

(A) とである転全原もに、ほとんどの草莽隊が武士的な身分意識が強くなる。そこで、眞忠組は相対的に最も農民など民衆に結びついたグループという早けれ稀有(けう)な特徴をもつてゐる。(つづく)

9月17日、東京・代々木公園にて、「いのちをつなぎくらしを守れ フクシマと共に9・17さようなら原発全国集会」が開かれ、全国から約80000名が参加した。主催は、「さようなら原発」一千万署名市民の会で、戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委が協力。

が多数参加し、多様な賛原発市民団体と合流した。

午後1時半から開始されたメイン集会では、主催者あいさつを、署名呼びかけ人の鎌田慧さん（ルポライター）、澤地久枝さん（作家）が行なった。鎌田さんは、「東海第二原発を再稼動させないことが今の大きな課題だ。だが、青森下北・大間原発の新規建設工事、六ヶ所再処理施設の稼動も止めねばならない。電力会社は再稼動を惰性でやつ

止めることができる」と訴えた。

フクシマからは、村弘さん（福島原発訴訟ながわ原告団）、佐藤良さん（福島原発刑事裁判支援団）が発言。村さんは、「内堀福島県事は最近、帰還困難区からの避難者に対しても、再来年3月までで宅提供打ち切りと発表した。来年3月には、避難指示区域からの避難への打ち切りが始まることで、政権を変えることができる」と訴えた。

ま。者難し住て域知田裁和か田とば
でに、フクシマは
としたいのか。」
事・安倍政権を
た。
佐藤さんは、東
について、「すで
られていた津波が
08年7月31日に
社長が変更させた
を示す証言や調書
日の9月5日公判

終ったと県知
糾弾し電裁判に決め
対策を、武藤副
長が、先で証拠
者との口論まで延長な
きで、国策、141差し押
から1

日本原電は、40年廃
ルを無視し、20年
などについて 11・27
に認可を得たいとし
る。しかし、この
民営会社は、資産
1億円の内 80 億が
せさえられている状
それなのに、東電
1740 億円の支援

発の耐震強度は実のところ、一般的の戸建て住宅の耐震強度よりも、何倍か脆弱である」という発言に注目が集まつた。(『世界』10月号掲載の元福井地裁判官・樋口英明氏の論評を参照してほさい。)
目前に迫つた沖縄県知事選でのデニー必勝、辺

人・落合恵子さんの閉
あいさつで集会終了、
加者は2コースでデモ
進に出発した。
なお、脱原発一千萬
名の集計数は8月28日
在で、874万361
と発表された。

「福島県沖では、津震が起ころる可能性を、することに躊躇すと証言した。被告側は、「長期について、専門家の異論があつた」とし用性を問題にして、しかし第10回公判で、憲二氏は、「はつきりた意見での異論はなく、「大きくもめたことなかつた」と証言し、寧重にまとめ上経過を説明した。第1回公判の都司准教授も論はあつたが議論に

安倍政権は第3期基本計画（7月3日決定）での、2022年度電源構成に占める比率を20・22%と定めた。この政策を続けてこの政策により、この意向を付度して、原動、20年延長を推動、また官僚や司法も政策の片棒を担いで、進の片棒を担いで、9月25日、四国電力原発3号機の運転を停止した。広島高裁の分決定（昨年12・13回「異」けた丁目もな前田君りしく」で間で評価する」

どとした。
しかし、国が対
らす、国民が問題
いなくとも、自然
起こりうる。差し
処分決定では、「
念と科学的知見と
隔たりがあること
て、判断基準を変
ことは許されない
じてているのだが、
全く反論できてい
司法が政権の意図
した最悪の判決で
さらに9月26日
県の東海第二原発
仮処

開（山武郡九十九里町小関）の大村旅館を占拠し、本館とし、12月26日には北方の下總国八日市場の福禪寺に八日止め仮市場支館を、翌元治元年（1864）1月13日の間に、日には南方の上総国茂原から借入した。この間には、日には南方の上総国茂原寺に茂原支館を設けた。そして、九十九里地帯の豪農・豪商から「借入」と断り、これを「用」という名目で、資金をもつて、武器を提供させ、これに付度められ、金1387両、茨城についてある。

事故がなければもつと生きられた

「社会通念」で伊方 異議審が忖度判決

張。「車両での避難を長時間強いられ、脱水症状や血栓が生じたことが死因である」と指摘し、「原発事故がなければ、死に至ることはなかつた」と強調した。東電・国の責任を追及し、絶対に許してはならない。(4面から)
（東京〇通信員）

9・29釜講座・NPO釜タイアップ企画—「企業組合あうん」に学ぶ

地域に根ざして仕事起こしを

沖縄県知事選挙の9・30投票日を目前とし、また、安倍が自民党改憲案提出をめざす臨時国会を前にした9月19日、東京・日比谷野外音楽堂にて、「この政治をチエンジする」をスローガンに掲げて「戦争法からまる3年、安倍9条改憲阻止!」沖縄・辺野古新基地建設阻止! 9・19日比谷

野音集会」が開かれた。集会には、平日にもかわらず早くから労働組合や各地9条の会などが続々と詰めかけ、参加者は野音の内外に満ちあふれた。主催者発表4800名は、控えめな数字といえる。その主催者は、「戦争させない・9条壊さない! 総がかり行動実行委」、「止めよう! 辺野古新基地建設阻止!」、「止めよう! 辺

西成市民館にて第1回釜ヶ崎講座学習会が、釜ヶ崎講座×釜ヶ崎支援機構タイアップ企画「企業組合あうんから学ぶ」として開催され、釜ヶ崎地域内外から約40名が参加した。

釜ヶ崎地域では、「特別清掃事業」の予算削減と地域労働者の高齢化、また非正規・不安定収入層の流入という現況により、就労事業の確立が不可避となっている。こうした決意でNPO釜ヶ崎支援機構は本年、協同組合・諸事業団体との実務経験交流をよくめた共同取り組みをすすめている。

市民団体・釜講座は、これを市民に広く伝えるべく支援機構の協力を得て、2回目の学習の場を設けた。

今回の話題提供者は、「企業組合あうん」の代表理事・荒川茂子さん。「企業組合あうん」は東京荒川区にあり、山谷地

9月15日、東京・文京区民センターにて「日朝ピヨンヤン宣言16年、9・15集会」が開かれた。主催は、日韓民衆連帯全国ネットワークなどの呼びかけによる同集会実行委員会。

9月15日、東京・文京区民センターにて「日朝ピヨンヤン宣言16年、9・15集会」が開かれた。主催は、日韓民衆連帯全国ネットワークなどの呼びかけによる同集会実行委員会。

9月15日、東京・文京区民センターにて「日朝ピヨンヤン宣言16年、9・15集会」が開かれた。主催は、日韓民衆連帯全国ネットワークなどの呼びかけによる同集会実行委員会。

9月15日、東京・文京区民センターにて「日朝ピヨンヤン宣言16年、9・15集会」が開かれた。主催は、日韓民衆連帯全国ネットワークなどの呼びかけによる同集会実行委員会。

9月15日、東京・文京区民センターにて「日朝ピヨンヤン宣言16年、9・15集会」が開かれた。主催は、日韓民衆連帯全国ネットワークなどの呼びかけによる同集会実行委員会。

9月15日、東京・文京区民センターにて「日朝ピヨンヤン宣言16年、9・15集会」が開かれた。主催は、日韓民衆連帯全国ネットワークなどの呼びかけによる同集会実行委員会。

沖縄知事選に勝利し、次の闘いへ

安倍9条改憲阻止! 沖縄辺野古新基地建設阻止9・19日比谷野音集会

戦争法からまる3年

産党・小池晃参院議員が発言。そして立憲民主党・福山哲郎参院議員は、「自民党には安倍政権を倒し、自民党に思い知らせる。その焦点がます沖縄だ。翁長さんの遺志を引き継ぎ、玉城勝利のため闘う。沖縄で勝ち、そして改憲発議を許さず、安倍政権を打倒する!」と、野党第一党の決意を述べた。

連帶発言では、安保法に反対する学者の会・上野千鶴子さんの発言に、連帶委から青木初子さんが発言。青木さんは、「7月27日、翁長雄志知事は、辺野古埋立て承認の撤回を表明され、8月8日急逝された。副知事が31日、撤回を行ない、今沖縄では知事選の熾烈な闘いがある。「沖縄への差別政策をやめさせ、南北・米朝間の首脳会談が開催されることを述べた。

また、非核化の問題では、「朝鮮半島の非核化」ではなく、そこには、日本も当然含まれると指摘し、朝鮮だけの非核化ではないが、朝鮮系マスコミの取り上げ方を厳しく批判した。

講演は、情報誌「インサイダー」編集長でTVコメンターとしても活躍している高野孟(はじめ)さんが、「朝鮮和平の新展開と安倍政権の行方」との演題で行なった。

最後に講座の渡邊代表が、この3点を掲げて、総がかり行動を打倒する。(1)沖縄知事選・辺野古止むに勝利する、(2)9条改憲阻止・アジアで非核平和を確立する、(3)東洋の福山真助共同代表が行動提起、「今日の大結果の力をバネに、安倍政権を打倒する。」と述べ、知事選後の闘争スタートを表明した。

最後に、翁長雄志が勝利すれば10月1日、追い詰められた翁長さんの無念を晴らす。負けることは許さない。玉城候補が勝利すれば、県民と共に闘い続け、辺野古新基地建設に勝利する」と訴えた。

山城博治・沖縄和平運動センター議長が登壇、「あと十日で県知事選投票日を迎える。命を賭け、県民と共に闘い続け、翁長さんの無念を晴らす」という立場で動いている

休憩後、在日韓国青年同盟が作成した『8・11ソウル自主統一平和大行進など』の上映が行なわれ、また、在日本朝鮮人権協会事務局のパクキム・ウギさんから、特別報告「朝鮮『制裁』に名を借りた在日朝鮮人への人権侵害の実態」が行なわれた。

ものであった。



▲ 野音内外に約5千人、戦争法廃止の闘いが再スタート。

日朝ピヨンヤン宣言16年、9・15集会

成田空港機能拡大工事着工に反対する声明

緊急声明

成田国際空港会社は、2500m滑走路を北側に1000m延長するための地盤調査のホーリング工事を開始した。また、夜間空港飛行制限を6時から深夜12時まで

より開始することを明らかにした。空港機能拡大の工事着工の受付を10月1日

に停止せよ。

